



志津南

12月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (10/31 現在)
世帯数 2,405 総人口 6,515 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

第2回地域別市民会議

さまざまなインフラ整備がまちの課題

目標に「環境整備」と「脱自動車」



採用や伯母川の水害対策、高齢化に伴い近い将来必ず訪れる公園・緑道の環境整備事業のアウトソーシング、

られていて、志津南学区は矢倉、老上、玉川、南笠東と南部中心核地域に含まれていません。

第1回市民会議で議論された課題が大きな地図に落とし込まれ、3グループ

草津市が進める都市計画マスタープラン策定にかかる第2回地域別市民会議が11月28日、志津南まちづくりセンターで開催されました。志津南まちづくり協議会(高田憲一会長)から、第1回会議に出席した前年度理事を中心に、16人が出席しました。写真。

計画は、市内14の小学校区を基本に、北部中心核地域、南部中心核地域、東部丘陵地域、西部湖岸地域の4つの地域に区分して進め

に分かれてワークショップを行い、新しい課題などを話し合いました。その後、各グループの代表者が意見をまとめて発表しました。各グループの共通課題として、インフラ整備が多く挙げられました。具体的には、調整池の活用方法として、駐車場や高齢者の遊歩道の設置、かがやき通りの交通渋滞解消、自転車専用道路の整備、山手幹線の国道化に伴う児童の安全な通学路の整備、デマンド型バスの

志津南学区ふれあい推進委員会(山元泰宏委員長)が実施した3週にわたる「しづみナリエ」が11月21日、好評裏に終了しました。

しづみナリエは初めての試みでしたが、11月2日に点灯式を行い、17時40分の志津南学区まちづくり協議会高田憲一会長のスイッチONにより開始しました。

21日までの3週間の期間中、観覧者は1日25〜92人訪れ、延べ800人強に上りました。地域の皆様に楽しんでいただけたこと、好評裏に終了しましたことをご報告いたします。

増え続ける空き家の環境・防犯対策など、盛りだくさんな課題が指摘されました。志津南学区のまちづくり目標は、行動計画にも示している「安心して、いつまでも住み続けたい安全で素晴らしい環境整備」と「脱・自動車のまちづくり」の2点にまとめられました。



しづみナリエを見に来た子ども連れ

センター長はじめ職員の皆様、ありがとうございます。ふれあい委員会の皆様、期間中ほぼ毎日寒い中、点灯から消灯までお世話いただきました。ありがとうございました。良かった、喜んでもらえた瞬間です。

また広報を見られた市外の方が遠い所わざわざ見に来られ、自分たちも作りたいので参考に貸してほしいと依頼があり「しづみナリエ」は、他の地域でも子どもさんに楽しんでもらうことになりました。事を申し添えます。

(山元泰宏)

左義長開催

若草岡本西地区協働活動委員会(田中聖一委員長)は令和3年1月11日(祝日)9時から11時まで、若草中

また、追分南町内会(前田武憲会長)も追分町と同の左義長を1月14日(木)15時から、追分町グラウンドで開催します。

お正月のお飾りや、お札類、書初めなどを燃やします。

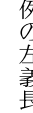
年末年始

センター業務

志津南まちづくりセンターは12月29日から翌年1月3日まで休館します。

年始は1月4日から通常どおり業務を行います。

今年追分南左義長風景



地域防犯・交通安全呼びかけ



びかけ、除菌ジェルやウェットティッシュを配布しました。写真

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、手袋・マスクを着用して配布を行いました。

雨模様でしたが、皆さんに快く受け取っていただきました。

交通防犯委員会(小山田洋祐委員長)は11月28日、スターグリーンビル店前で地域の防犯や交通安全を呼

らえ、30分ほど配布は無事に終了しました。近年、志津南学区は新しい店舗や住宅が増えており、

山手幹線が延伸されると、交通量がさらに増加していくものと思われれます。また、依然として空き巣の被害なども発生しており、防犯にも注意が必要です。

今後も皆さんの交通安全・防犯に対する意識をさらに高めていくことで、安心・住みよい志津南学区にしていきますよう、ご協力をお願いします。

オカリナと大正琴



に癒されて



地域サロン「お茶の間」(小早川敏子代表)は11月20日、若草第五集会所でミニイベントを開催しました。

地域サロン「懐メロを歌う会」との交流で、参加者35人はオカリナと大正琴の繊

細な音色に癒されました。「お茶の間」は毎週金曜日(10時~12時)、地域の方が

の「京都亀岡大河ドラマ館」を見学しました。色鮮やかな衣装の制作や、撮影現場の風景など、ドラマ制作の舞台裏を興味深く知ることが出来ました。

午後からは、光秀初期の地である長岡京市へ移動し、山崎の合戦で光秀が本陣を構えたという細川家の居城、勝竜寺城(今は公園)址を訪ねました。その近くにある前方後円墳の「恵解山古墳」の発掘調査で、合戦当時の土器片や鉛弾が出土していることから、光秀の本陣はここでも考えられ

ているそうです。ここからは天王山が目の前です。籠城には不利な地で、夜中に坂本城に向け逃亡する途中で悲劇的な最期を遂げ、12日間の幕を下ろしたという歴史にも解説されている

処で講座は終了しました。明智光秀は単なる謀反者だったのか?はたして本心は光秀のみ知る、またの機会に探訪してみたいですね。京都市内、坂本、多賀、福知山、亀岡、大山崎方面へ向う「本能寺の変」の謎に迫った2年間でした。ありがとうございました。

気楽に立ち寄れる憩いの場として、ゆったりと和やかに時間が流れています。

長年、3ヶ月ごとに「お誕生会」を開き、ミニイベントを楽しんできました。が、春からの感染症のため世の中が一変し、折角の計画も断念・延期の連続で、月日が過ぎるばかりでした。

収束の見えない状況の中、そろそろ対策をしっかりと講じて始めてみよう、スタッフの前向きな熱意で、春から温めてきた計画を進めることにしました。

「大正琴アンサンブル」奏をされますが、今回は、会場に合わせて音量など調整して下さいました。

曲目は全9曲。季節感びつたりの「枯れ葉」「ピートルズメドレー」に続き、オカリナが加わり「コンドルは飛んでいく」。アンデスの高い山と澄んだ空気の空を飛ぶコンドルの雄大な姿を想像さ

せる演奏にうっとりした後はガラッと変わって「津軽海峡冬景色」と演歌も。アンコール曲「剣の舞」の勇壮なりズムに引き込まれた皆さんはとも高揚した面持ちで、「素晴らしい」「レベルが高い」「もったいない」と喜んで下さり、あっという間の40分間でした。

最後に、別称「ダンテライオン」とはタンポポの事で、タンポポの葉がライオンの歯のギザギザに似ていることから、いろんなジャンルに挑戦していく仲間を集まりであると、名前の由来をお聞きしました。

史跡探訪 「光秀の謎」最終章



勝竜寺城址を訪ねる受講生たち

志津南まちづくりセンターは11月4日、第3回教養文化講座「史跡探訪」を実施し、受講生16人が参加しました。

2年間にわたった「明智光秀」についての学習も最終章となり、今回は当初の予定を変更し、亀岡でNHK大河ドラマ「麒麟がくる」

の「京都亀岡大河ドラマ館」を見学しました。色鮮やかな衣装の制作や、撮影現場の風景など、ドラマ制作の舞台裏を興味深く知ることが出来ました。

午後からは、光秀初期の地である長岡京市へ移動し、山崎の合戦で光秀が本陣を構えたという細川家の居城、勝竜寺城(今は公園)址を訪ねました。その近くにある前方後円墳の「恵解山古墳」の発掘調査で、合戦当時の土器片や鉛弾が出土していることから、光秀の本陣はここでも考えられ

ダンテライオンの演奏を楽しむ参加者



「大正琴アンサンブル」奏をされますが、今回は、会場に合わせて音量など調整して下さいました。

最後に、別称「ダンテライオン」とはタンポポの事で、タンポポの葉がライオンの歯のギザギザに似ていることから、いろんなジャンルに挑戦していく仲間を集まりであると、名前の由来をお聞きしました。



布(紅茶染め)、刺しゅう、アップリケ

ちょっとひとやすみ



日々、いろんなことに挑戦して頑張ったな~
以前、旅まわりでおとずれて買っておいとお酒をのんでおいしいものを食べ満足の寝正月だ~

(創作手芸作家 三尾三紀子)

「芝桜プロジェクト」

2年半のあゆみ

何とかならないかな？

の若草側の草刈で、年に数回行っていきます。

「志津南環境美化ボランティアの会（舟木要一代表）」の活動の一つは、若草と青山の境にある甲子園球場の2倍ほどもある洪水調整池

草刈の後は池の景色も一変し、気分もスッキリ爽快。多少の疲れは残るものの「達成感」に浸る特権を味わう事ができるところ



調整池花壇に美しく咲き揃った芝桜

が1か月もないうちに雑草が繁茂し、もとの木阿弥！これが地域の環境美化活動で空き家対策や高齢者支援をテーマに挙げる「志津南環境美化ボランティアの会」が一般助成を申請する事になったのですが、そのヒアリングで、先方担当者から

の繰り返しはとても残念な事で、何とかならないかな？と、いつもボランティア仲間が考えていました。

ダメもとで応募

雑草に代わるグラウンドカバーに「芝桜が結構良さそうだ」と思い始めた頃、平和堂財団が、環境美化活動団体を助成している事を知りました。

地域の環境美化活動で空き家対策や高齢者支援をテーマに挙げる「志津南環境美化ボランティアの会」が一般助成を申請する事になったのですが、そのヒアリングで、先方担当者から

苦勞の末に可憐な花

「芝桜プロジェクト」の目玉は、調整池内に芝桜を展開させて雑草繁茂、ゴミのポイ捨て等を防止する事。

すぐ調整池を管轄する県事務所に向き、了解を取るも、洪水を防ぐダム機能を有する施設の為「斜面への植え付けは×」、平面部分ならOKと言われました。

早速、平地部分の掘り起こし整地作業に取り掛かりました。この掘削整地作業は曲者で困難を極めました。粘土質の上に建築残滓などを埋めて造成されていたので、少し掘ると、建築残滓のコンクリート片、鉄筋、ゴミ、粘土などがザクザクと出てくるのです。

それでも皆で力を合わせてやっと30m近くを整備し、

雑草から芝桜を分断する為に、「ベルト状の花壇」を造っていきました。（1年目）

2年目の春、調整池内やまちづくりセンターの周りに芝桜が可憐な花を付け出すと、俄然、皆の注目を浴びる様になります（但し、花が咲いている時期だけ）。

雑草から芝桜を分断する為に、「ベルト状の花壇」を造っていきました。（1年目）

2年目の春、調整池内やまちづくりセンターの周りに芝桜が可憐な花を付け出すと、俄然、皆の注目を浴びる様になります（但し、花が咲いている時期だけ）。

雑草から芝桜を分断する為に、「ベルト状の花壇」を造っていきました。（1年目）

2年目の春、調整池内やまちづくりセンターの周りに芝桜が可憐な花を付け出すと、俄然、皆の注目を浴びる様になります（但し、花が咲いている時期だけ）。



うしはびこてもモ〜！

「モ〜！」

E・S・ワイルドステーション 桂かい枝 鈴木版

学びもあるおすすめ本です。

イギリス、スペイン、フランス、日本、各国の動物の鳴き声を、名所や文化の絵と一緒に紹介して、絶好

来年は丑年。という事で、とっておきの牛の絵本を紹介しましょう。

インパクトある牛の顔の表紙で「なあ、しつてらんですが、関西弁の訳がら。」と「テコテの関西弁で始まる、ユニークで



(中西ひとみ)



センター周りの芝桜

暖かい援助の手が 調整池内はとりあえず、青山との境まで100mほど延伸する計画だったので、残りの整地作業に人力で取り掛かりましたが、気が遠くなるような感じでした。その状況を危惧してか、見るに見かねてか、センター長から援助の手が差し伸べられました。ユニボと云う小型掘削機を操作員付きで提供してもらえました。これで花壇造成のピッチが上がり、何とか見通しがついてきました。

も芝桜植栽依頼がきて、引き受ける事にしました。がこの場所、当時は一面に雑草と芝が繁茂する状態で、まず雑草と芝の除去が必要でした。この作業もユニボのお陰でしのご事ができました。

「芝桜プロジェクト」は、こうした暖かい支援なしでは、決して進める事ができないと感じています。2年目の秋、この調整池に芝桜を植え付ける作業は、志津南小学校6年生が手伝ってくれました。作業の前には、調整池の概要やその役割等についての講義を、この分野に詳しい我々ボランティア仲間のK氏にお願いしました。学校側からは、調整池に関しては、知らないのか？彼らの日々の観察を通して、生命の力、不思議さに興味を持ち、育てて行く事を願っています。

「芝桜プロジェクト」は、こうした暖かい支援なしでは、決して進める事ができないと感じています。2年目の秋、この調整池に芝桜を植え付ける作業は、志津南小学校6年生が手伝ってくれました。作業の前には、調整池の概要やその役割等についての講義を、この分野に詳しい我々ボランティア仲間のK氏にお願いしました。学校側からは、調整池に関しては、知らないのか？彼らの日々の観察を通して、生命の力、不思議さに興味を持ち、育てて行く事を願っています。

4年生が卒業するまでの間、芝桜がどう成長していくのか？彼らの日々の観察を通して、生命の力、不思議さに興味を持ち、育てて行く事を願っています。



これから... 「芝桜プロジェクト」を進めるには、地域の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。これからも少しずつ植栽面積を増やし、維持していく方針ですので、引き続きご支援・ご協力、宜しくお願いいたします。(M・O)

和気あいあいと脳トレ

楽しく手指体操に取り組む学級生



やすらぎ学級第6回講座が11月25日、志津南まちづ

くりセンターで開催され、学級生21人が参加しました。「身体を動かして楽しく脳トレ」と題し、講師に坂本正昇さんと笠本博之さんを招きました。当日は、「手指体操」「脳トレドリル」「体を使ってじゃんけんぽん」「お口の体操」「なぞなぞクイズ」など、和気あ

いながら脳を使うことが大切で、2つの事を同時に行うこと、これが認知症の予防につながるという話でした。また、講座終了後には、「家に帰っても、今日習った脳トレにチャレンジしてみたい。」との声が聞かれました。

例年、草津市役所大会議室で交流会が実施されていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、学区ごとに各受賞者に配布されました。現在草津市内には122団体があり、約2500人が参加しています。これからも百歳を目指して元気に続けていきたいと思いを。

あいと楽しみながら様々なプログラムを学びました。楽しい話も織り交ぜながら話を聞く受講生の姿がとても印象的でした。このゲームは、うまくできなくても大丈夫。運動を

しながら脳を使うことが大切で、2つの事を同時に行うこと、これが認知症の予防につながるという話でした。また、講座終了後には、「家に帰っても、今日習った脳トレにチャレンジしてみたい。」との声が聞かれました。

いきいきクラブ 市から団体表彰

志津南いきいきクラブ(奥田隆三代表)が、令和2年度草津市「いきいき百歳体操10周年継続団体表彰」を受けました。

同時に90歳以上の継続者に表彰状と記念品が贈られ、

現在同クラブには、60歳代から93歳まで32人が参加しています。

志津南いきいきクラブでは、7人が表彰を受けました。

志津南まちづくりセンターは10月27日、「年賀状作成講座」を開催しました。毎年の風物詩のような感のある講座ですが、今年も5人が参加し、楽しく年賀状を作成しました。

世の中では年賀状離れが進みつつあり、若い世代はSNSなどを通じて新年のあいさつ済ませてしまうといった人も多いようです。

楽しく年賀状づくり

思い思いに、スマホで撮影した写真を利用したり、フリー素材から気に入ったものを探したりしながら、令和3年度丑年の年賀状ができてきました。文字の配置、写真の明るさなどで雰囲気が変わるので、慎重に作業をして、それぞれすてきに仕上がりました。

来年もパソコン講座開催を予定しています。詳しくは、志津南まちづくりセンターにお問い合わせ下さい。

また、講座終了後には、「家に帰っても、今日習った脳トレにチャレンジしてみたい。」との声が聞かれました。

ただ、年に一度であれ連絡を取り合う事にも意義があり、やはり今年も準備しておきたいと、参加者たちは熱心に年賀状作りに取り組みました。

この世の中には、知らないことがたくさんあります。そんな事柄を自分で「そうか、こういう事かと納得し満足し、そして知ることで安心する」そんな記事を今回紹介します。

表彰状を受け取る奥田代表



表彰状を受け取る奥田代表



継続者表彰を受けたメンバー

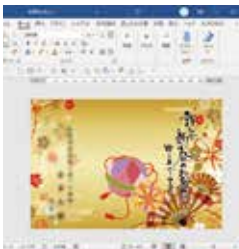
この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。

この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。

この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。

この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。

この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。



作成中のワード画面



この世の中には、知らないことがたくさんあります。そんな事柄を自分で「そうか、こういう事かと納得し満足し、そして知ることで安心する」そんな記事を今回紹介します。

この世の中には、知らないことがたくさんあります。そんな事柄を自分で「そうか、こういう事かと納得し満足し、そして知ることで安心する」そんな記事を今回紹介します。

- パソコンの駅
- パソコンについての相談
- ▽12月25日(金)
- 1月26日(火)
- 13時~16時
- ▽志津南まちづくりセンター
- 1サロン
- ▽回収日変更のお知らせ
- ▽資源回収日の変更
- 来月1月2日(土)・3日(日)の第1週の回収日はお正月のため左記の通り変更活用ください。

- されず。間違いないようご注意ください。
- 1月3日の回収日が12月29日(火)に。対象は若草一丁目から若草五丁目です。
- ・フォレストローズ子ども会の1月度回収日は第2・第4土曜日に変更されます。
- ▽回収品目の再開
- ウエス(古着類)の回収は現在中止されていますが、12月から再開されます。ご活用ください。

- 資源回収
- 毎月第1・3日曜日
- ★若草1~5丁目町内会
- 毎月第2・4日曜日
- ★若草6~8丁目町内会
- 岡本町西町内会
- 毎月第2・4土曜日
- ★かがやきの丘町内会
- 毎月第1・3土曜日
- ★フォレストローズ子ども会
- 毎月第2日曜日
- ★向山子ども会

千日回峰行

この千日を山歩きに費やし、その距離は実に4万5千以上になり、地球1周歩いたことになりました。

この行を終えた僧は「阿闍梨(あじかり)」と呼ばれ「生き仏」として人から崇拜されるのです。その達成者上原行照師の説話の一部を紹介いたします。

煩惱(ぼんのう)を捨て去った人ゆえの奥深い言葉です。(T・A)